

ぶうげんびりあ6月 No.1

2018年 6月号 No.227 <http://www2.synapse.ne.jp/ainohamaen>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園

奄美市名瀬大字知名瀬2504

TEL:54-8011 FAX:54-8012

先月、第12回鹿児島県障害者スポーツ大会及び旅行の引率をしました。その時、泊まったホテルでの何気ないひとときの話しです。特別に何をしたわけでもなく、いつも通り談笑をしたり、その日の出来事を振り返ったり、これからのことを話したりと、とても心地よく笑いが絶えない時間でした。そして、就寝する時に、ある利用者さんに、「この旅行、楽しかったですか？また、来年も鹿児島に行きたいですか？」と尋ねると、「また、いきゅ(行く)。」と言って、笑顔を見せてくれたその表情に胸が熱くなりました。その利用者さんは来年77歳。あと何回、その利用者さんと旅行ができるのだろう。高齢で体力の事を考えると、この一瞬、一瞬が本当に貴重な時間なのだと実感しました。「もう二度と戻ってこないこの瞬間」を、時には大切に思い、少しでも多くのニーズに応え、笑顔になれるように支援をしていく役目がある事を76歳の利用者さんの寝顔から学ぶ事ができました。(課長代理:辻原)

6月行事予定表

1日(金):グラウンドゴルフ大会

4日(月):体重測定・血圧測定

5日(火):ミュージックセラピー

19日(火):ジャンベ

20日(水):総合防災訓練

21日(木):遠足(旧端午の節句)

(就労継続支援B型・生活介護)

24日(日):知名瀬町内敬老会

26日(火):ヘルスタイム

27日(水):健康相談



お誕生日



酒井 真希さん



森 樹子さん



中田 信枝さん



圓 初代さん



幸 裕次郎さん

おめでとう

レクリエーション活動が始動 !!

生活介護 本年度から、活動にレクリエーション活動が加わりました。お散歩や音楽、ゲーム等、ジャンルを問わずいろいろなことを利用者さんに楽しんでいただきたいという願いからの新たな活動です。先月22日に第1回目を実施し、今回は、以前(数十年前?)に踊っていた踊りの再現でした。いつも踊っている「月の白浜」に始まり、「おかあさん(森 昌子)」や「北国の春(千 昌夫)」に挑戦しました。なにせ昔のことで、踊りを覚えている職員も少なく、思い出すのに苦労したにも関わらず、長年いらっしゃる利用者さんは、音楽がかかるとすぐに踊り出されたのです。大きな声で皆さんに踊りを教える利用者さん、その方々が先生でした。他の皆さんも、少しずつ思い出したり、初めての職員も利用者さんを見ながら踊ったりして、少し嬉しそうに手を繋ぎ、笑顔の輪が広がっていきました。そして後半は、玉入れやスプーンリレー、ボウリングなどのゲームをしました。車椅子の方も、普段は動き回ることが少ない分、楽しそうに参加していました。一番夢中になっていたのは職員ですが…。踊って、笑って、とても楽しいひと時でした。これからも、皆さんが楽しんでもらえるような活動をしていけたらと思います。(記事:荒田)



奄美看護福祉専門学校実習

5月7日(月)から17日(木)までの10日間、奄美看護福祉専門学校の男子学生2名の実習生受け入れがありました。最初の3日間は就労継続支援B型事業に参加し、職員、利用者と一緒に農芸作業やペットボルの分別作業に取り組みました。10日から7日間は生活介護事業の日課に参加し、班別活動や入浴支援、休日の余暇支援などに参加し、利用者の支援や接し方などを学びました。実習最終日には多くの利用者が参加できるよう念入りにリハーサルをした後、多目的ホールでレクリエーションを行い、車椅子の利用者を含めたくさんの方が楽しみながら交流を深める事ができました。私達も少なからず将来の役に立てたならと実習生の今後に期待しエールを送りたいと思います。(記事:前之園)



中島章スプリングコンサート

4月29日(日)愛の浜園の利用者さん達は、奄美文化センターにて開催された「中島章スプリングコンサート」にご招待頂きました。メインの中島さんをはじめ、多くのアーティストが参加されていましたが、なかでもスペシャルゲストとして参加された久永美智子(ひさなが・みちこ)さんは、愛の浜園歌の作曲者でもあり、とてもご縁のある方です。利用者の皆さんは演奏に合わせて唄者になりきって口ずさむ方や、笑顔で体を揺らしながら聞き入っている方もおられ、とても楽しそうに過ごしていました。今回、ご招待下さいました関係者の皆様本当にありがとうございました。(記事:田畑)



陶芸教室 2月末に朝仁保育園から依頼を受け開催した陶芸教室。50名の方の参加があり、皆さん思い思いの作品を作りました。当初は一ヵ月で焼き上げ、手渡す予定でしたが、電気窯の故障などにより二ヵ月もかかってしまいました。皆さん待ち遠しかったのではないかと思います。4月26日に朝仁保育園に届ける事が出来ました。参加した園児からは、「ありがとうございました。」と元気に言ってもらい、頑張って焼きあげて良かったと感じるところでした。これからも、陶芸をしたいと思っていらっしゃる方々に、陶芸に触れる機会を多く提供できたらと思います。皆さんもお気軽にご相談ください。(記事:恵)

～パッション・フルーツ販売の季節です～

就労継続支援B型 梅雨本番中です。そんな中、就労継続支援B型事業・農芸班のビニールハウスでは、パッションフルーツの収穫が始まりました。赤紫色に熟した甘酸っぱい香りの果実。それがパッションフルーツです。今年は例年よりも側枝の数を増やし、収穫増量を図りました。値段も市価よりは安めに設定するつもりです。お入り用の方はぜひお試しください。(記事:小元)



ご希望の方は、愛の浜園まで
0997-54-8011

三賞受賞者

(努力賞)

定原 たず子さん…外食を楽しむ事が出来ました。

圓 初代さん……作業中を集中して取り組む事が出来ました。

障害者スポーツ大会の練習がんばりました。

坂井 文也さん……障害者スポーツ大会の練習がんばりました。

伊元 サチ子さん…障害者スポーツ大会の練習がんばりました。

朝谷 テツミさん…障害者スポーツ大会でメダルをとる事が出来ました。

永田 三十六さん…障害者スポーツ大会でメダルをとる事が出来ました。

田畑 栄さん……落ち着いた 旅行を楽しめました。



藤島 亜由美さん…落ち着いた子宮がん検診を受ける事が出来ました。

伊元 サチ子さん…部屋の掃除を頑張りました。

竹田 美喜子さん…部屋の掃除を頑張りました。

平山 和子さん……洗濯物量みを頑張りました。

中田 信枝さん……洗濯物量みを頑張りました。

(親切賞)

盛 重和さん……お友達が消し忘れたラジカセのスイッチを、止めてくれました。

(奉仕賞)

隈元 利彦さん……男性棟の洗面所の掃除をしてくれています。



第12回鹿児島県障害者スポーツ大会及び旅行



5月20日(日)、鹿児島県立鴨池補助競技場を中心に他3会場で第12回鹿児島県障害者スポーツ大会が行われました。私たち愛の浜園の利用者さんは、大島地区代表として記録種目5名、交流種目5名の参加となりました。特に記録種目の利用者さんたちは、プレッシャーを感じ、緊張感の中、相手や自分と闘いながら競技に臨んでいました。その結果、愛の浜園からメダル獲得者は2名でした。(壮年女子アキュラシー5m(7枚)銀メダル。壮年男子ディスタンス(39m70cm)(銀メダル))。残念ながら、入賞できずに納得いかない利用者さんもありましたが…。しかし、この後、大会の反省会(宴会)や旅行などの楽しみに変わり、楽しい時間を過ごす事ができました。旅行では、平川動物園に行き、普段見られない動物を見学したり、ショッピングや観光をしながら、鹿児島旅行を満喫することができました。色々なハプニングやエピソードはありましたが、笑顔の多い楽しい3泊4日の旅になったことだと思います。(記事:辻原)



面会日・家族総会 ～利用者さんの笑顔・家族との絆～

5月6日(日)利用者さんが一番楽しみにしている面会日がありました。愛の浜園の創立記念日に(5月1日)合わせ、一番近い日曜日、5月の第一日曜日に行われます。多目的ホールではご家族、面会者の為に展示即売をし、写真、新聞、DVDを準備し一年間を振り返りました。利用者さんとご家族にとってとても大切な日、久しぶりのご家族との再会でとても嬉しそうな表情をみせていたことが毎回の事です。微笑ましく感動でした。私たちが支援しても見せない表情もあり、利用者が普段からあの表情が出せるように支援していきたいと語る支援員もありました。また、ご家族に安心して頂けるように、毎日ご家族の存在を思いながら利用者さんと接していきたいと話す職員もありました。職員も心引き締まる、大変いい機会にもなった面会日でした。(記事:市田)



5月の愛の浜園



特別号

第65回記念県美展 入賞

第65回記念県美展(主催:鹿児島県美術協会)がこのほど開催され、ハートフル部門(出品点数154点 出品者数121名)に、坂井文也(さかい・ふみや)さんの絵画「あじさいの花」と、猿渡明弘(さるわたり・あきひろ)さんと幸裕次郎(みゆき・ゆうじろう)さんの共同制作による陶芸作品「tenkomori 2018」が、みごとに入選いたしました。特に、「tenkomori 2018」は、ハートフル賞という立派な賞をいただき、二重の喜びとなりました。ちなみに、坂井文也(さかい・ふみや)さんが余暇の時間を利用して描いた「あじさいの花」は、色鉛筆によって画面いっぱいにあじさいの花が描かれ、躍動感あふれる作品となっています。県美展終了後に送り返されてきた作品の裏には、「賞候補」のシールが貼られてあり、高い評価であったことを伺うことができました。また、「tenkomori 2018」は、生産活動の時間に制作した猿渡明弘(さるわたり・あきひろ)さんの器に、幸裕次郎(みゆき・ゆうじろう)さんが作った、たくさんのビーズをてんこ盛りにした作品で、表彰式後には複数の方から声を掛けていただき、その作品の作り方や制作日数など、いろいろな質問がありました。同時に、「来年は一般の部で出品しては・・・?」のご意見も頂き、愛の浜園における陶芸の生産活動や余暇の在り方について自信を持つことができました。今後も、利用者の隠れた才能を社会にたくさん発信できるよう、普段の取り組みを大切にしたいと思います。(記事:施設長 榮野)



tenkomori 2018

猿渡明弘(さるわたり・あきひろ)さんと
幸裕次郎(みゆき・ゆうじろう)さんの共同制作



「あじさいの花」

坂井文也(さかい・ふみや)さん作



6/10～7/1まで 第65回記念県美展 奄美関連作家展に展示されております。
会場:【田中一村記念美術館】時間:9:00～18:00(最終日のみ16時まで)
場所:田中一村記念美術館 企画展示室 ※入場無料

